

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第183号(2017.03.02 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【過去の CP 通信をご覧ください】: http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html

【お知らせ】

平成 29 年度のキャリアアップ・プログラムとカルチャー講座ホームページを更新しました。

平成 29 年度の受講生を募集しております。HP からお申込みいただけます。

《受講生募集中 キャリアアップ・プログラム HP》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

《受講生募集中 カルチャー講座 HP》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

【目次】

・巻頭言……広島経済大学 経済学部長

経営学科 教授 小谷 幸生

・平成 29 年度キャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)のラインナップ

・平成 29 年度(2017 年)1 学期 CP/CS 講座シラバス紹介

【木曜日】 国際経済入門

【木曜日】 よくわかる法人税入門

・経大見聞録

・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部長

経営学科

教授 小谷 幸生

3 学期 CP 講師『財務分析の基礎』

大学人と会社人との違いを改めて考える

30 年強の会社勤め(銀行員)を終えたのち、本学に職を得てからこの 3 月でまる 12 年になります。十二支でいえばち

ようど一回りした計算です。都合 40 年余りの社会人生活のなかで、民間企業と大学という異なる職場環境に身を置いてきたため、両者の違いを聞かれることがよくあります。その都度、思うところを話してきましたが、大学人としても相応の経験を積んできたこの機会に、大学人(教員)と会社人(ビジネスパーソン)との違いについて感じてきたことを改めて整理してみたいと思います(下表)。

(表)「大学人」と「会社人」との相違点

	大学人(教員)	会社人(ビジネスパーソン)
時間の尺度	長期	短期
仕事のタイプ	農耕型(長期間ジックリ育てて収穫)	狩猟型(毎回の狩りで獲物を捕獲)
求められる資質	持久力	瞬発力
身の処し方	仕事人(仕事への貢献)	組織人(組織への貢献)
働くスタイル	個人プレー(一人で仕事に取り組む)	組織プレー(他者との協働作業)
組織との繋がり	組織外とのヨコの繋がり	組織内でのタテの繋がり
人材市場の流動性	高い	低い
組織の束縛	小さい	大きい
生活パターン	オンとオフの区別が曖昧	オンとオフの区別が明確
「顧客」との関係	(对学生) 信任に基づく委託と受託	(対顧客) 対等な関係に基づく契約

(注) 大学人と会社人の特徴が際立つように大胆に類型化したもの。実際には、各人が両者の特徴を濃淡を伴って併せ持つことになる。

まず大きな相違点は、成果が求められるまでの「時間の尺度」です。大学の場合には、教育、研究ともその性格上、早急に成果が求められるものではありません。教育の場合には学生が入学してから卒業するまでの 4 年間が一つの区切りとなり、研究であれば十年単位も珍しくありません。昨年、基礎研究でノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典氏がその好例です。一方、会社の場合には、通常 1 年の会計期間が基準となり、その枠内で短期間の成果が求められます。特に近年、ショートターミズム(short-termism: 短期主義)という言葉に象徴されるように、より短い期間で結果を求める傾向が強まり、その弊害が指摘されているところです。

こうした時間尺度の違いは、そこに身を置く者の生きざまも規定することになります。

大学人の仕事ぶりは、手元にある作物を長い時間をかけてジックリ育てる静的なイメージであり、「農耕型」と言えるでしょう。成果を上げるには、長期間にわたって“倦まず弛まず”仕事に専念する「持久力」が求められます。手がける仕事(作物)への評価が自分の評価に直結するので、「仕事人」として「仕事への貢献」に力を注ぎます。また学生や研究と一人で向き合う「個人プレー」が主体であり、仕事上の有益な情報を求めて、組織(大学)内よりも出身大学院や学会等の組織外との「ヨコの繋がり」が強くなります。必要となる知識技能はどこでも通じる普遍的なものなので、組織への帰属意識は自ずと小さくなり、欧米諸国に比べると動きに乏しいとされるわが国の人材市場にあって、例外的に流動性は高くなります。

一方、会社人の仕事ぶりは、獲物(=利益)を捕りに外に打って出る動的なイメージであり、狩りの短い期間内に成果が求められる「狩猟型」と言えるでしょう。短期間で結果を出すためには「瞬発力」が欠かせませんし、会社目標の達成にむけた協働作業のなかで自分の評価が定まるので、「組織人」として「組織への貢献」に力を注ぎます。また組織との関わり方も、トップからボトムへの指揮命令系統に沿った「タテの繋がり」が基軸となっています。このため組織への帰属意

識は旺盛であり、また求められる知識技能も今の会社に限って通用する組織特種的なものとなり勝ちなので、人材の流動性は低くなります。

総じていえば、会社人に比べると組織とのつながりが希薄な大学人の方が自由であると思います。ただし、自由＝お気楽、と言うわけではありません。というのも、ひとつには大学人は生活面での「オンとオフの区別が曖昧」なことがあります。会社人の場合には、退社すれば基本的には仕事から解放されるので、オンとオフの区別が明確です。一方、大学人の場合、特に「未知の知」を探求する研究では到達点が見えにくく、自分自身で納得(妥協)したところがオン・オフの区切りになります。「学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる」とは、現代物理学の父と呼ばれるアインシュタインの言葉です。目標を高めに設定すればするほど、より多くの時間と労力を投入することが求められ、常に緊張感を伴った生活を送ることになるのです。

いまひとつは教育に対する責任の大きさです(注1)。会社人にとっての顧客は対等な立場での契約の相手方ですが、教員と学生との関係は対等とは言えません。知識・情報量に欠ける学生が教員を信頼(信任)して教育を委託し、教員はこれを受託するという関係に例えることができるでしょう。ちょうど医者と患者との関係に似ています。教員は優位な立場にあるが故にその地位を濫用することは強く戒められ、委託者(学生)の利益を優先する「受託者責任」を負うと考えられます。受託者責任とは、狭義には金融取引などの信託契約に基づく受託者が負うべき義務ですが、広義には「他者の信任に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称」(注2)とされています。責任の重さと範囲は教員の自覚に任されるだけに、教育者としての意識が高いほど感じる責任は大きなものになるのです。

このように会社人と比べると一見束縛が小さいように見える大学人も、研究、教育において自らを内面から厳しく律することが求められ、「外からのプレッシャー」に晒される会社人とはまた違った意味でたいへんシンドイものであるというのが、これまでの経験から得られた私の実感です。

(注1) 以下の記述は、岩井克人(2015)『経済学の宇宙』日本経済新聞出版社 pp.354-360、石川純治(2013)「インフォームド・コンセントとフィデューシャリー」『週刊経営財務 No3115』、を参考とした。

(注2) 金融庁「平成 28 事務年度 金融行政方針」p.11 2016 年 10 月

■平成 29 年度キャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)のラインナップ

【会場】 広島経済大学 立町キャンパス(広島市中区立町 2-25 IG 石田学園ビル)

【期間】 1 学期 5/22～6/30 までの各講座の開催曜日 6 回

【時間】 19 時～20 時 30 分(1 コマ 90 分 6 回講義)

【定員】 30 名

【受講料】 キャリアアップ・プログラム(CP)1 講座 12,000 円

カルチャー講座(CS)1 講座 5,000 円

【申込】 平成 29 年度 CP/CS のホームページを更新しました。本学 HP からお申込みください。

CP ホームページは <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

CS ホームページは <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

【最少開講人数】 5名以上

【平成 29 年度 1 学期の CP/CS ラインナップ】

1 学期	クラス	タイトル	講師	開講日	
CP	月曜日	ベーシック	原価計算論の基礎	天王寺谷 達将	5/22, 5/29, 6/5, 6/12, 6/19, 6/26
	火曜日	エントリー	コーポレートファイナンス入門	重本 洋一	5/23, 5/30, 6/6, 6/13, 6/20, 6/27
		ベーシック	ビジネス文章表現	木本 一成	
CS	水曜日	エントリー	Excel で学ぶ統計入門	貫名 貴洋	5/24, 5/31, 6/7, 6/14, 6/21, 6/28
		ベーシック	コミュニティビジネス論基礎	山本 公平	
	カルチャー	戦国名言の舞台裏	長谷川 泰志		
CP	木曜日	エントリー	国際経済入門	野北 晴子	5/25, 6/1, 6/8, 6/15, 6/22, 6/29
		エントリー	よくわかる法人税入門	一橋 信之	
	金曜日	ベーシック	国際金融の基礎	福居 信幸	5/26, 6/2, 6/9, 6/16, 6/23, 6/30

■平成 29 年度(2017 年)1 学期 木曜日のシラバスをご紹介します。

受講の参考にしてください。

【木曜日 エントリー科目】

科目名	国際経済入門	
副題	日経新聞をビジネスに活用したいあなたのために	
受講対象者	毎日のように日経新聞の紙面を踊る、国際経済にかかわる用語。知っているようでよくわからない、いまさら人に聞けないけど本を読んでもよくわからない、あらためて学びなおしたい、という人のための講座です。	
講座概要	現代のようなグローバル経済の中、日本国内の経済問題は国際経済問題でもある。日本経済新聞紙上のキーワードから、まずその用語の経済学的な意味と背景について説明します。その後、新聞記事全体を、経済学的な視点から体系的に読み解いていきます。	
到達目標	① 日本経済新聞の見出しだけで、国際経済ニュースの内容がわかるようになる。 ② 国内外の経済問題を、体系的に把握できるようになる。	
授業計画 および開講日	第 1 回 5/25(木)	円高・円安～円高は悪いことで、円安の方が日本経済にとっていいの?
	第 2 回 6/1(木)	国際収支～貿易収支の赤字は大変なこと? 経常収支って何?
	第 3 回 6/8(木)	WTO、FTA、NAFTA、TPP～トランプ政権誕生で頻繁に出てくるその頭文字。いったい、どのような違いがあるの?
	第 4 回 6/15(木)	為替操作～よく批判される元安、為替って思い通りに動かせるの?
	第 5 回 6/22(木)	外貨準備～外貨準備が多いとお金持ち国の証拠? 増えたり減ったりする要因は何?
	第 6 回 6/29(木)	日本経済にとって、いま注目すべき国際経済ニュースは何?
授業の形式	座学	

授業の進め方	毎回の講義でキーワードが含まれた日本経済新聞の記事を用意します。上記の授業内容については、経済状況(新聞紙面の内容)により、順番やキーワードが変わることがあります
教材などの追加負担	教材の負担はありません。
受講者へのメッセージ	講義の途中でも、遠慮なく素朴な疑問をぶつけてください。
講師紹介	野北晴子(経済学部 経済学科 教授 経済学修士) 佐賀県生まれ。1986年佐賀大学経済学部卒業、89年広島経済大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了、1993年同大学院経済学研究科博士課程後期満期退学、90年広島経済大学助手、94年講師、01年助教授を経て、07年より現職。現在の研究テーマは、ASEAN諸国における日本企業の動向と日本経済への影響。

【木曜日 エントリー科目】

科目名	よくわかる法人税入門	
副題	法人税のしくみを学び、仕事に役立ててみたいと思っているあなたのために	
受講対象者	いままでに興味はあったが学ぶ機会がなく、法人税を知らないできた人、法人税を初めて学ぶ人を対象にしています。法人税を少しでも知っていれば、会社の仕事やニュースの理解に役立ちます。企業人として一皮むけたい人のための講座です。	
講座概要	同じ取引を行っても企業会計と法人税は異なる捉え方をします。法人税が企業会計とどのように異なるのかを理解し、その計算方法について学ぶのが法人税の勉強です。しかし、企業会計の知識は必要ありません。会計の知識も税法の知識もまったくない人に、法人税を楽しく学んでもらう講座です。	
到達目標	目標は3つです。まず、簡単な会社の法人税の申告書が理解できるようになること、さらに、簡単な節税方法がわかるようになること。そして、会社の決算書を法人税から見るができるようになることです。「そういうことだったのか」と感動するようなことをたくさん学びます。	
授業計画 および開講日	第1回 5/25(木)	(1)法人税と決算書の関係を勉強します(決算調整・申告調整とは何か) (2)益金を勉強します(営業収益、営業外収益、特別利益項目の税務)
	第2回 6/1(木)	(3)損金を勉強します(営業費用、営業外費用、特別損失項目の税務)
	第3回 6/8(木)	(4)資産の取扱いを勉強します (5)圧縮記帳・各種引当金・準備金・欠損金とは何でしょう
	第4回 6/15(木)	(6)法人税の申告書を書いてみましょう
	第5回 6/22(木)	(7)法人税額の謎解きに挑戦しましょう(この2つの会社、同じ利益額なのに法人税がどうしてこんなに違うのでしょうか?)
	第6回 6/29(木)	(8)法人税が出てくるいろいろなニュースやできごと覗いてみましょう (国際税務やM&Aもできますよ)
授業の形式	座学	
授業の進め方	毎回オリジナルのレジュメ(講義資料)を配付します。講義は、パワーポイントとレジュメで行い、適宜計算演習をしながら理解を深めます。	
教材などの	教材費の負担はありません。	

追加負担	ただし、毎週電卓(8桁以上)を持参してください。
受講者へのメッセージ	法人税は企業会計を前提としていますが、この講義ではそういう知識はまったく必要ありません。予備知識を前提としていませんので、法人税に興味があるという人に多く集まっていただき、楽しく勉強したいと思います。
講師紹介	一橋 信之(ひとつばし のぶゆき) 経済学部 経済学科 教授 広島市出身。一橋大学経済学部卒業後、損害保険会社の財務部に勤務し、企業融資や資産運用業務を担当した後退職し、広島市で税理士事務所を設立。その後広島経済大学大学院経済学研究科博士課程を修了後、広島経済大学に勤務し(2013年より教授)、学部および大学院で財政学や税法を担当。

■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒブレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【2/17】本学経営学科4年生が日本オペレーションズ・リサーチ学会「中国・四国支部長賞」を受賞しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010547.html>

【2/22】子ども達を守ろうプロジェクトが広島経済大学見学イベント「わくわくキャンパスウォーカー」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010569.html>

【2/23】熊本復興支援プロジェクトが熊本県の益城町で「広島風お好み焼き」の炊き出しを行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000010576.html>

【2/24】宮島の魅力を発信し隊学生プロジェクトが『宮島なび Vol.1』を刊行しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000010580.html>

【2/28】子ども達を守ろうプロジェクトが未就学児対象防犯イベント「もうすぐ1年生わくわく安全教室」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010592.html>

【明德館】学生たちの自由なアイデア創造空間「明德館」

<http://www.hue.ac.jp/50th/meitokukan/>

【明德館ブログ】

<http://blog.meitokukan.hue.ac.jp/>

【キャンパスライフ】

<http://www.hue.ac.jp/life/index.html>

【クラブサークル活動】

<http://www.hue.ac.jp/life/circle/index.html>

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM